



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東 福

上場会社名 小野建株式会社

コード番号 7414 URL <http://www.onoken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 建

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長

(氏名) 小野 信介

TEL 093-561-0036

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	105,935	11.4	1,750	△8.3	1,865	△8.5	1,054	△23.9
23年3月期第3四半期	95,129	12.4	1,909	38.5	2,037	33.7	1,385	76.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,027百万円 (△25.2%) 23年3月期第3四半期 1,372百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	50.87	50.87
23年3月期第3四半期	66.86	66.86

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	104,431	45,771	43.8
23年3月期	92,272	45,303	49.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 45,692百万円 23年3月期 45,234百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	12.00	—		
24年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,698	6.0	2,874	△12.1	2,979	△13.7	1,680	△22.2	81.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	21,244,830 株	23年3月期	21,244,830 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	518,953 株	23年3月期	518,909 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	20,725,893 株	23年3月期3Q	20,726,099 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響による景気の一時混乱は各企業の生産設備復旧に向けた努力により徐々に回復してきております。しかしながら、欧米諸国の財政問題や新興国のインフレ対策等により世界経済の減速懸念や急速に進む円高の継続などにより、景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。

鉄鋼流通業界におきましても、民間設備投資は徐々に回復してきたものの、公共工事は依然として減少傾向で推移するなか競争激化により適正口銭を確保した安定経営が難しい局面となりました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、従来からの基本戦略である「販売エリアの拡大」と「販売シェアの向上」として、4月に滋賀県草津市に滋賀営業所を、10月に兵庫県姫路市に兵庫営業所を開設し関西エリアにおいて、より地域に密着した営業展開をはかっております。ほかにも社内の人員配置の見直しによりエリア毎にきめ細かく対応できる体制づくりに取り組むなど中長期を見据え市場の動向に左右されにくい強固な営業体制の確立を推し進めました。

この結果、市況上昇や販売数量の増加により当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,059億35百万円（前年同期比11.4%増）となりました。損益面におきましては、当第3四半期連結会計期間末における在庫の評価損を1億57百万円計上するなど売上総利益率が落ち込んだことにより、営業利益17億50百万円（前年同期比8.3%減）、経常利益18億65百万円（前年同期比8.5%減）、四半期純利益は10億54百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①九州・中国エリア

販売数量の増加と市況の上昇により売上は増加いたしました。競争激化による利益率の低下により利益は減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は563億3百万円（前年同期比5.1%増）利益は9億44百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

#### ②関西・中京エリア

販売数量の増加と市況の上昇により売上は増加いたしました。競争激化による利益率の低下により利益は減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は275億21百万円（前年同期比15.4%増）利益は2億47百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

#### ③関東・東北エリア

震災の影響により東北エリアを中心に前半は苦戦しましたが、販売数量の増加と市況の上昇により売上は増加いたしました。利益におきましても新設した川崎センターの活用により外注費削減効果も出始めたことにより増加いたしました。その結果、外部顧客への売上高は221億11百万円（前年同期比24.9%増）利益は6億35百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は1,044億31百万円（前連結会計年度末比121億59百万円増加）となりました。主な要因は、販売数量の増加ならびに販売単価の上昇による売上高の増加により受取手形及び売掛金が498億85百万円（前連結会計年度末比43億67百万円増加）、数量増と単価の上昇により商品及び製品が119億10百万円（前連結会計年度末比22億47百万円増加）、未完成工事残高の増加で前渡金が60億9百万円（前連結会計年度末比45億98百万円増加）となったことによるものです。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は586億60百万円（前連結会計年度末比116億91百万円増加）となりました。主な要因は、仕入の増加ならびに未完成工事残高の増加により買掛金が335億60百万円（前連結会計年度末比63億22百万円増加）、運転資金の増加ならびに商品および製品が増加したことにより短期借入金が199億円（前連結会計年度末比41億円増加）となったことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は457億71百万円（前連結会計年度末比4億67百万円増加）となりました。主な要因は、利益剰余金が389億2百万円（前連結会計年度末比4億94百万円増加）となったことによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月4日の第2四半期決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,288	3,133
受取手形及び売掛金	45,517	49,885
商品及び製品	9,663	11,910
原材料及び貯蔵品	940	1,345
その他	2,140	6,479
貸倒引当金	△254	△288
流動資産合計	59,295	72,465
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,916	18,916
その他(純額)	12,314	11,510
有形固定資産合計	31,231	30,427
無形固定資産		
のれん	313	230
その他	122	93
無形固定資産合計	435	323
投資その他の資産		
その他	1,925	1,708
貸倒引当金	△615	△493
投資その他の資産合計	1,309	1,215
固定資産合計	32,976	31,966
資産合計	92,272	104,431
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,237	33,560
短期借入金	15,800	19,900
未払法人税等	714	189
賞与引当金	218	109
役員賞与引当金	69	50
その他	1,602	3,525
流動負債合計	45,642	57,334
固定負債		
長期借入金	72	46
退職給付引当金	475	481
役員退職慰労引当金	372	388
資産除去債務	62	62
その他	342	347
固定負債合計	1,325	1,325
負債合計	46,968	58,660

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,780	3,780
資本剰余金	3,509	3,509
利益剰余金	38,407	38,902
自己株式	△602	△602
株主資本合計	45,094	45,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125	101
繰延ヘッジ損益	14	1
その他の包括利益累計額合計	139	103
少数株主持分	68	78
純資産合計	45,303	45,771
負債純資産合計	92,272	104,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	95,129	105,935
売上原価	87,904	98,290
売上総利益	7,225	7,645
販売費及び一般管理費	5,315	5,895
営業利益	1,909	1,750
営業外収益		
仕入割引	44	52
その他	170	134
営業外収益合計	215	186
営業外費用		
支払利息	25	32
売上割引	23	38
為替差損	6	—
その他	31	0
営業外費用合計	87	72
経常利益	2,037	1,865
特別利益		
固定資産売却益	348	1
出資金売却益	—	0
受取保険金	138	—
特別利益合計	487	1
特別損失		
固定資産除却損	1	3
投資有価証券評価損	16	—
役員退職慰労金	56	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40	—
その他	1	0
特別損失合計	117	3
税金等調整前四半期純利益	2,408	1,863
法人税等	975	799
少数株主損益調整前四半期純利益	1,432	1,064
少数株主利益	46	9
四半期純利益	1,385	1,054



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,432	1,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	△23
繰延ヘッジ損益	△29	△13
その他の包括利益合計	△59	△36
四半期包括利益	1,372	1,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,325	1,017
少数株主に係る四半期包括利益	46	9

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。